

以下は 2021 年春休みにカナダ・ヴィクトリア大学オンライン留学に参加した
学生による留学報告書です。①-⑥の 6 名分です。

①

オンライン留学報告書

私は 2 月 22 日から 3 月 19 日までの約 1 か月間、カナダにあるヴィクトリア大学のオンライン留学を受講しました。このヴィクトリア大学を知ったのは私が 1 年生の時、先輩が留学報告会で紹介していた時でした。その頃からぜひこの環境で英語を学んでみたいと思い、この大学で学ぶ日が来るのを楽しみにしていました。実際に現地に行って学びたかった場所ではありましたが、コロナウィルスのため海外渡航ができなく、諦めかけていました。しかしこのチャンスを無駄にしたくないと思い、今回はオンライン留学としてヴィクトリア大学の授業を受講することにしました。まず授業が始まる前、クラス分けのテストやガイダンスがありました。ガイダンスでは初めて先生方や一緒にオンライン授業を受講する生徒の顔を見ることができました。そこでは当たり前ながらすべて英語でしたが、先生たちが想像よりも優しくとても安心したのを今でも覚えています。そしてテストの結果で決まったクラス分けがされ、授業が始まりました。その時にはじめて同じクラスの方と画面越しで会うことができました。私のクラスは男性の先生 1 人と約 10 人の生徒でした。生徒のほとんどは日本人でしたが 1 人台湾出身の方がいました。授業は週 3 回、1 時間のオンライン授業でした。授業し始めはとても緊張していましたが、1 週間たつとメンバーとも慣れていき、先生ともコミュニケーションをとるのが楽しくなっていました。そして授業の内容は自分のレベルに合っていたと思います。難しすぎず、楽しんで英語を学ぶことができました。授業はほとんどディスカッションがメインで、簡単な質問から難しい質問がありました。特に印象的だったのがホームレスについてみんなでディスカッションしたことです。先生に『あなたの街のホームレスはどうしてホームレスになったと思いますか？』と聞かれました。日本語でもなかなか答えられない問題なのに対して英語で答えるなんて無理だと思いましたが、今できるすべての英語力を使って一生懸命に答えました。少し変な英語だったと思いますが、無事伝えることができました。そして相手が理解してくれてより英語を話すことが今までよりもはるかに楽しく感じることができました。4 週間の授業はあっという間に終わってしまい、寂しく感じてしまいました。最後はクラスのほとんどと仲良くなることができ、連絡先を交換しました。このオンライン授業では英語力はもちろんですが自分から発言する力、英語の楽しさをより感じることができました。また私は授業のほかにも毎週火曜日にある自由参加のコミュニケーションをとるクラスにも参加しました。日ごろからネイティブの方たちと話す重要性にも気づきました。現地に行けなかったのは残念ですが、今回学べたことで得たこともたくさんありました。短い時間ではありましたがこの思い出と経験はいつか役に立てたらと思います。そしていつか現地に行きたいという気持ちがオンライン授業後からより強く感じたのでぜひ行きたいです。

オンライン留学報告書

私はこの4週間のプログラムを受講して、様々な面で学ぶことができました。初めは全く顔を合わせたことのない他の受講者や先生とやり取りをしたり、英語を話すことに不安がありました。また、本来実際に現地へ行って学ぶ予定だったことをオンラインで行うことになり、何が学べるのだろうかとも思っていました。実際にプログラムが始まると、週3回1時間のリアルタイムの授業と週ごとに違う内容の課題がありました。リアルタイムの授業では、主に ZOOM のブレイクアウトルームで小さなグループに分かれて自分のことを話したり、相手に質問をしたりしてコミュニケーションをとる時間が多くありました。私はコミュニケーションをとることや、人前で話すことが得意ではなかったため、大学の授業では自分から話したり十分な内容を話すことが出来ていませんでした。しかし、今回のプログラムでは事前にテストを受けクラス分けされ、自分と同等のレベルの英語力を持つ人たちとやり取りをしたため、授業についていけないということもなく、とても学びやすかったです。また、様々な地域の人が集まっていたり、それぞれ好きなものが違う人が集まっていたため、話し合う内容も興味を持てるものでした。自分の住んでいる地域について話す内容の授業では、ブレイクアウトルームで発表しあい、その中で最もよかった人が全体で話す場面がありました。私は今までこのような場面でよい発表ができたことはありませんでしたが、この授業ではグループの中で代表に選ばれ、成長を感じることができました。また、課題は1週間で学ぶ文法や内容が絞られていて、たとえば1日目には単語、2日目には文法やフレーズ、5日目にはその1週間で学んだ単語や文法を使った作文やスピーキングといったような流れがあったため、しっかり学んだ内容を身につけられたと感じています。プログラムを終えた今、洋画を見たり英文を読むときに今回学んだフレーズが多く出てきたり、以前よりスムーズに内容を理解できるようになったと感じています。この期間で、読む、聞く、話す、など自分の英語力を全体的に向上させられたと感じたため、このプログラムに参加してよかったと思います。今回の経験を今後の英語の勉強のモチベーションに繋げて努力していきたいです。

オンライン留学報告書

私は、英語の実力を伸ばすためにこのオンライン留学を受講することになりました。約 1 ヶ月間という短い期間ではありましたが、とても充実した内容で英語の実力を伸ばす良い機会だったと思います。

まず、授業は全て英語で行われました。そのため、ヒアリング力とスピーキング力が特に上達したと感じます。以前の私はスピーキングが苦手で、正しい文法が使えているかなど不安があり、授業を受ける前は自信がありませんでした。しかし授業内では、間違った文法を使うと先生が丁寧に訂正してくれましたし、積極的に英語を使うことで自然とスピーキング力が身についたと思います。普段は英語を話す機会がほとんど無いので、オンライン留学を通して英語に触れる機会を作れたのは良い経験だったと思います。

また、留学を終えてボキャブラリーが豊富になったと感じます。授業ではテーマが絞られていて、テーマに沿った単語を使いながら、生徒同士で意見交換や議論をしました。また、課題の提出でもテーマに沿った単語を使うことが求められていたので、新しく学ぶ単語に触れる機会が多くありました。

他には、他学生との交流が良い刺激になりました。学習意欲のある学生たちに囲まれていたので、私自身も向上心を持ち続けられたと思います。また、他学生と意見交換や話し合いをする場面が多かったのも、英語を学ぶだけでなくいろいろな考えや意見を得られました。他学生と楽しく交流しながら学べたので、気負いなく程よい緊張感を持ち続けられることもオンライン留学の魅力だと思いました。

私は英語が得意では無かったので、オンライン留学を受講するのは不安でしたが、先生や生徒との交流を楽しみながら学習できました。学習環境が整っていて自信を持てたので、継続できたと思います。また、英語の上達には普段から英語を使って話すことが大切だと気づきました。留学を通して自信をつけることができたので、今後も積極的に学習に取り組もうと思います。オンライン留学でとても良い経験を得られてよかったです。

オンライン留学報告書

この約一か月間のオンライン留学を終えて、この期間は自分を見つめ直す良い機会になったと強く感じました。本来であれば 2018 年度にエジンバラへ留学をする予定でしたが、大学を一度退学したため、留学に行くことを辞めました。しかし、留学をしたいという気持ちは、常に自分の心の中にあり、そして、再入学をした際に学科長からオンライン留学を勧めていただき、この度参加することができました。英語にしばらく触れていなかったため、レベル分けのテストは案の定下のクラス。悔しかったけれど、これが今の自分の実力なのだと噛みしめ、英語力を上げようと強く心に決めました。もしも自分が上のクラスにいたのならば、おそらく何も努力をせず、ただただ課題をこなし、授業を受けていただけだったと思います。下のクラスだったからこそ、課題や授業のほか、英字新聞を取り寄せて読んだり、分からなかった単語や熟語、言い回しなどの英文をノートにまとめるなどといった自習を徹底して取り組むことができたのだと思います。また、課題のおかげで毎日英語に触れる機会があったことも、私の中では大きかったように感じます。現地へ行く留学ならば、ホストファミリーやクラスメイト、休み時間や放課後など、毎日英語に触れることができませんが、オンライン留学は毎日あるわけではなかったもので、課題を毎日こなすことにより、普段の大学生活よりもはるかに多く英語に触れる時間が多く、英語に慣れるのに最適でした。授業は、グループディスカッションがメインで、常に自分の意見を言わなければいけないという印象を強く感じました。私にとって、普段考えないような内容の問題について考えること、そしてそれを英語に直すことがとても難しく、最初は苦戦しました。また、自分の英語が間違っていたらどうしよう、みんなの前で決して上手ではない英語を話したくない、と自ら言葉を発することを避けていました。しかし、回数を追うごとに、自ら発することに恥ずかしいと思わなくなり、寧ろ自分の意見を言いたいと思うまでになりました。慣れたからかどうかなのは分かりませんが、日本人特有の、恥ずかしいから発言しないというところから抜け出すことができ、私は大きく成長したのではないかと思います。

オンライン留学を通して、毎日英語に触れるといったことが大事だと改めて気づくことができたので、英字新聞を読んだり、学んだ英語を自分なりにノートにまとめていくことをこれからも継続していこうと思います。また、先生や仲間と連絡先を交換したので、英語でのコミュニケーションを取り続けていき、英語力向上へとつなげていきたいです。

オンライン留学報告書

私は、オンライン留学に 2 月 22 日から 3 月 19 日まで参加しました。週 3 回のリアルタイム授業と課題があり、リアルタイム授業は 1 時間でした。授業は、ほとんど生徒同士で質問をしていました。課題は、すぐに終わらせられるものから、1 時間以上かかるものがありました。

はじめに、1 時間のリアルタイム授業と課題が 1 週間ごとに話す内容等が決められているので、授業前に課題を終わらせられるものは終わらせておくことで授業に参加しやすかったです。

次に、授業は先生の説明を聞いたり質問に答えたりして学校と同じでしたが、生徒同士の質問をする時間が長く、たくさんの方と英語で話すことができました。生徒は、台湾の方が 1 人いましたが、他は日本人でした。同じ日本人でも、宮城県の他に東京、千葉、長崎、青森と様々で、他の生徒の身近なことや住んでいる地域のことなど、授業での質問で知ることができたので毎回興味を持って参加することができたので良かったです。

3 つ目に、課題の中に自分で 1~2 分間のビデオ撮影を撮り提出するものが毎週あり、私にとって一番大変な作業でした。見本となるビデオがありますが、話す内容は、1 週目が「あなたの国で人気のあるスポーツ」、2 週目が「好きな映画とテレビ番組」、3 週目が「近所を説明」、4 週目が「私のカルチャーショック体験」と、決まっていました。ビデオ撮影のときは、「カメラを見るように」と書かれていたので、できるだけ暗記をして行いましたが、私は緊張して間違えてしまうことが多く、何度も撮り直しをしました。この撮影は、課題の中で一番時間がかかり大変でしたが、文章を考え、英文にするとときに間違いがないか確認をして、発音も確認しながら練習をしたので学べることが多くとても勉強になりました。他にも、約 100~150 語の英文を毎週提出するものがありました。この課題も題は決まっていますが、使わなければいけない単語など形式があり、自分自身のことと考えるので、単語が少し無理矢理な使い方になってしまうことがありました。この課題でも、私は自分のことについて思い出しながら英文を考えたので、これから受ける英語検定試験や英会話にも役に立つと思いました。題は、「スポーツ体験」、「好きな映画」、「友達にメールを書く」、「アドバイスの提供」でした。

最後に、受講して学んだことは、とにかく沈黙をなくし多くの生徒と積極的に話すことで、英語の勉強になることを学びました。英語をたくさん話すことで、お互いの英語の発音の確認や、使う単語などの確認をしたり、自分の間違った英語に気づいたりすることができたので、オンライン留学に参加する前よりも英語の知識が増え、英語を話す力や聞く力をつけることができたと思います。

今回のオンライン留学は、私にとってこれからの英語の勉強に役立つことばかりだったので参加して良かったです。

オンライン留学報告書

私は今回、カナダ・ヴィクトリア大学 オンライン留学に初めて参加しました。最初はオンラインでしたが、海外の授業をきちんと受けることは初めてだったので不安や戸惑いもありましたが、国際交流センターや現地のアドバイザーの方々がオリエンテーションやメールで分からないことがあれば丁寧に教えてくださり、安心した環境で授業に臨むことができました。

期間は 2 月 22 日から 3 月 19 日の約1ヶ月で日本時間の朝 10 時から 11 時まで水曜日から金曜日の期間の1時間を12回行うというものでした。私のクラスは、日本人が9割、そしてブラジルの方がいました。授業のシステムとしては、初めに「自己紹介」、「自分の短所長所について」、や毎回「週末何を行ったか」またいろんなテーマについて自分がどのように思うかなど各質問を考えて、グループディスカッションをして考えを共有したり、パートナーになったクラスメイトの紹介をするということを行なったりしました。海外の方ともグループディスカッションを行い英語で簡単にどのように説明するかを考えさせられました。またこのような機会を設けてくださり、自分の英語や話したい内容について発言する際、このプログラムに参加する前より、格段に身についたのではないかと実感します。そして短い期間でしたが、クラスの皆さんと仲良く、協力して授業に臨むことができました。生徒に関わらず、先生ともうまくコミュニケーションをとることができてとても嬉しく思います。授業の際に先生の誕生日だったりとみんなで祝うことができ、とても嬉しく思いました。また、課題については4週間行ったため、4回ほどリスニング、リーディング、ライティング、文法問題が約 20 から 30 問ほど課題を出されました。自分のレベルに合わせた問題が多かったので自分の苦手としている文法を多く取り掛かることができ強化することができました。課題は授業より大変でしたが、課題の取組は自分にとってとても有意義なものであったと思います。

私はクラスだけでは英語に対するコミュニケーションが充実していましたが満足できなかったもので、授業が行われた期間の毎週火曜日に Café social(social connect)というものに毎回参加しました。そこではヴィクトリア大学に通う学生や先生方とコミュニケーションを取れる場で、自己主張やリスニング力に影響を受けました。またそこではいろんな方と接することができ参加してとてもよかったと思います。またこのプログラムに参加して、影響を受けたものも多く、自分の自信にもなったので、またぜひ今度は直接留学、訪問を通してさらに自分の学びを深めたいです。